



Codec C90



Codec C60



Codec C40



Codec C20



Quick Set C20/C20 Plus



SX20 Quick Set



TC5.1

TRC5 で使用



ユーザー ガイド

Cisco TelePresence System Profile シリーズ
Cisco TelePresence System Codec C シリーズ
Cisco Telepresence System Quick Set C20/C20 Plus
Cisco Telepresence SX20 Quick Set



Profile 65 インチ
デュアル



Profile 65 インチ



Profile 52 インチ デュアル



Profile 52 インチ



Profile 42 インチ



このユーザー ガイドの内容

本書上部のメニュー バーと目次の各項目には、すべてハイパーリンクが設定されています。クリックするだけで目的のトピックに移動します。

このガイドの改訂版が提供されていないか、シスコの Web サイトを定期的に確認することを推奨します。移動先: <http://www.cisco.com>

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

はじめに

システムを復帰させる	4
リモート コントロールの概要	5
メニューのナビゲーション	6
テキスト フィールドへのテキスト入力	7
テキスト入力が必要な事項	7
仮想キーボードの呼び出し	7
仮想キーボードの詳細	7
画面のレイアウト	8
ヒント: 画面への壁紙の追加	8
レイアウト変更	8
カメラ プリセット	9
カメラ プリセットのある場所	9
プリセットの使用	9
新規カメラ プリセットの追加 (I)	10
新規カメラ プリセットの追加 (II)	11
既存のカメラ プリセットの編集 (I)	12
既存のカメラ プリセットの編集 (II)	13
カメラ設定	14
カメラの露出の調整	14
カメラのホワイトバランスの調整	14
メイン ソース	15
メイン ソースの設定	15
通話設定 — 概要	15
通話設定オプション	15
通話設定 — 自動応答オプション	16
オプションの詳細	16

通話設定 — デフォルトの帯域	16
デフォルトの帯域オプション	16
言語設定	17
言語設定オプション	17
日付と時刻の設定について	17
日時設定の概要	17
ユーザーによる日付と時刻の設定	18
無効な NTP サーバー	18
日付と時間を自動的に設定	18
有効な NTP サーバー	18
着信音の選択	19
着信音の選択	19
着信音量の設定	19
着信音量の設定	19
キートンのオンまたはオフの設定	20
キートン設定	20
画面の壁紙の設定	20
壁紙設定オプション	20
自分の壁紙の挿入	21
システム情報	21
詳細設定の表示	22
詳細設定の表示	22
システムの再起動	22
再起動	22

発信

名前、番号またはアドレスを指定した発信	24
アドレス帳を使った発信	25
発信履歴のリストによる発信	26
着信しているとき	27
進行中の通話の終了	27
管理システム予約リスト	27
複数への発信 (オプション)	28
相手に発信する前に、発信相手のリストを設定	28
参加者 1 人ずつへの発信	28
ビデオ会議の終了	28
Multiway™ を使用して複数の相手に電話をかける	29
Multiway の使用、ケース 1	29
Multiway の使用、ケース 2	29
システムに搭載されているコーデック	30

アドレス帳の使用

アドレス帳の基本機能	32
アドレス帳のナビゲーション	32
アドレス帳のエントリへの通話	32
アドレス帳を開く	32
アドレス帳の検索	33
エントリを検索する方法	33

アドレス帳への新しい連絡先の追加	34
発信履歴またはアドレス帳からのエントリの追加	34
個人アドレス帳への手動によるエントリの追加	34
アドレス帳での既存のエントリの編集	35
アドレス帳でのエントリの編集	35

通話中の機能

コンテンツの共有	37
デュアル ビデオ ストリーム	37
PC コンテンツの共有	37
共有コンテンツが表示されない場合	37
ソースの選択	37
カメラの操作	38
自分のカメラ (自局) の操作	38
接続先のカメラ (相手先) の操作	38

スケジュールされた会議

会議への参加	40
会議への参加または参加拒否	40
会議の詳細	40
会議の詳細の表示	40
今後の会議のリストを表示	41
ナビゲート可能な会議のリストを表示	41
今後の会議の詳細	41
会議の詳細の表示	41
すでに通話中の場合の参加	42
会議への参加	42
会議の同時進行 (同時接続)	42
参加する会議の選択	42
スケジュールされた会議の延長	43
会議の延長	43

詳細設定

管理者設定について	45
管理者設定の表示	45
管理者設定およびパスワード	45
ソフトキー機能の割り当て	46
ソフトキーへの機能の割り当て	46
メイン ソースの選択のためにソフトキーを作成	47
メイン ソースの選択ソフトキーの割り当て	47
カメラ プリセットのためにソフトキーを作成	47
カメラ プリセット ソフトキーの割り当て	47
ソフトキー — 短縮ダイヤル	48
短縮ダイヤルの割り当て	48
カスタマイズされたソフトキーの表示方法	48
カスタマイズされたソフトキーの例	48
ソフトキー — ソフトキーのクリア	49



第 1 章

はじめに

システムを復帰させる

通話を開始するには、システムをスタンバイの状態から起動する必要があります。ただし、電話がかかってきた場合、システムは自動的に起動します。

- システムを起動するには、TRC5 リモート コントロールを手にするか、任意のキーを押してください。システムにより検出されない場合、システムの方向にリモート コントロールを向けてください。

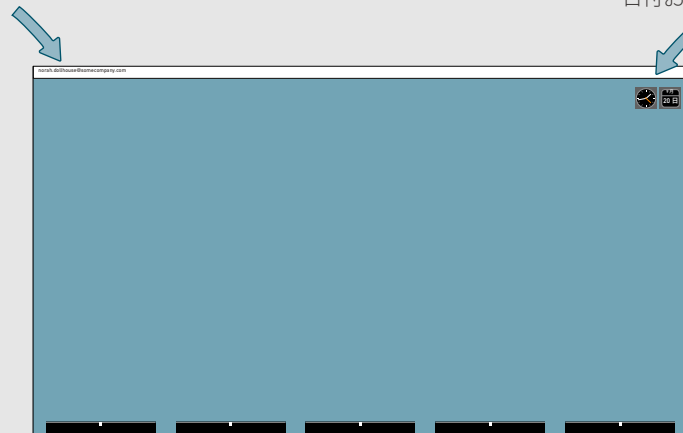


- システムに壁紙が表示されます。
- システムのダイヤルイン アドレスまたはダイヤルイン番号は、左上隅に表示されます。ダイヤルイン アドレスまたは番号について不明な点がある場合は、システム管理者にお問い合わせください。
- また、画面には応答しなかった通話が表示されます。

起動後、通常、下のような画面が表示されます。

システムのダイヤルイン アドレスまたはダイヤルイン番号は、左上隅に表示されます。

日付および時刻



ソフトキー（説明は次のページ）。

システムがリモート コントロールまたは着信通話のいずれかに応答できなかった場合、以下を確認します。

- システムが電源に接続されている。
- リモート コントロールの電池残量が十分にある。
- モニタ ケーブルやカメラ ケーブルなどの内部ケーブルが正しく接続されている。必要な場合は、設置シートで詳細を確認してください。



リモート コントロールの概要

マイクのオン / オフを切り替えます。



スピーカーの音量を調整します。


矢印キーでメニューを移動し、中央の **✓** キーで選択を確定します。
メニューが表示されていない場合は、**矢印**キーでカメラを動かすことができます。

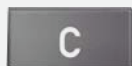
画面に**メインメニュー**を表示します。

画面に**【アドレス帳】**(連絡先) を表示します。


電話をかけます。



テキスト フィールドの文字を削除します。



1 回押すとシステムの PC 画面の表示に切り替えます。再度押すとメインカメラに戻ります。


【プレゼンテーション】メニューを開いて、他のソースを選択できます。

キーを長押し

カメラをズームします。



各キーは、画面下部にあるコンテキスト依存の 5 つのソフトキーに対応します。

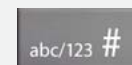


画面のレイアウトを変更します。


通話を終了します。
通話中でない場合は、キーを長押しするとスタンバイ モードに移行します。

携帯電話のようにキーパッドで文字と数字を入力します。
キーを繰り返して押すと、各キーに示されている文字に順に切り替わります。

キーを長押し

キーを長押しすると、タッチトーンモード、小文字、数字の順に切り替わります。

通話中にタッチトーン モード (DTMF) にする場合は、このキーを使用します。終了するには、**✓** キーを押します。
テキスト入力時は、このキーで大文字と小文字を切り替えます。
キーを長押しすると、文字と数字を切り替えることができます。

キーを長押し

システムの起動

リモコンを取ってリモコンの両側にあるゴム製のラインセンサーに触れるか、リモコンのキーのどれかを押します。

メニューのナビゲーション

ビデオ システムの操作にはリモート コントロールを使用します。わずかなナビゲーション原理を知るだけで使用を開始できます。

- ・ **ホーム** キー (🏠) を押して、**【ホーム】** メニューを表示するか、またはリモート コントロールを持ち上げて、システムを起動します。
- ・ リモート コントロール上部の中央にある**矢印**キーを使って、メニュー内をナビゲートします。

🏠 キーを押すと、画面に **【ホーム】** メニューが表示されます。

現在選択されている項目は、オレンジ色の長方形で示されます。

メニューを上下にナビゲートするには、▲ および ▼ **矢印** キーを使用します。



小さい三角形は、サブメニューが利用できることを示しています。

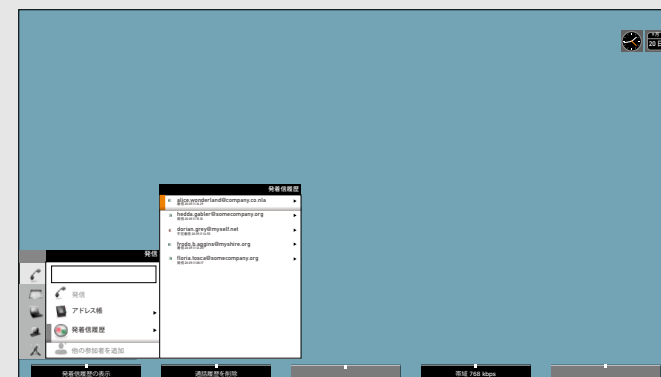
例は、右矢印キーを押して表示されるサブメニューを示しています。



すべてのメニューを終了し、**【ホーム】** メニューのみの表示に戻るには、**ホーム** キー (🏠) を使用します。

展開したメニューを折りたたむ (1 レベル戻る) には、◀ **矢印** キーを使用します。

- ・ システムに **【ホーム】** メニューのみが表示されている (下記の図を参照) 場合、**ホーム** キー (🏠) を押すと、メニューが非表示になります。再度表示するには、もう一度 **ホーム** キー (🏠) を押します。
- ・ 入力フィールドで **C** を押すと、カーソル位置左までの文字 / 数字を削除します。



リモート コントロールの機能キーに対応するコンテキスト依存ソフトキー。

特定のコンテキストで使用されないソフトキーはグレー表示されます。



テキスト フィールドへのテキスト入力

メニュー フィールドの一部には、テキスト情報を入力します。これは、発信相手の名前、番号または住所の入力や、アドレス帳の検索および連絡先リスト（**個人アドレス帳**）の維持に使用します。

テキスト入力の必要事項

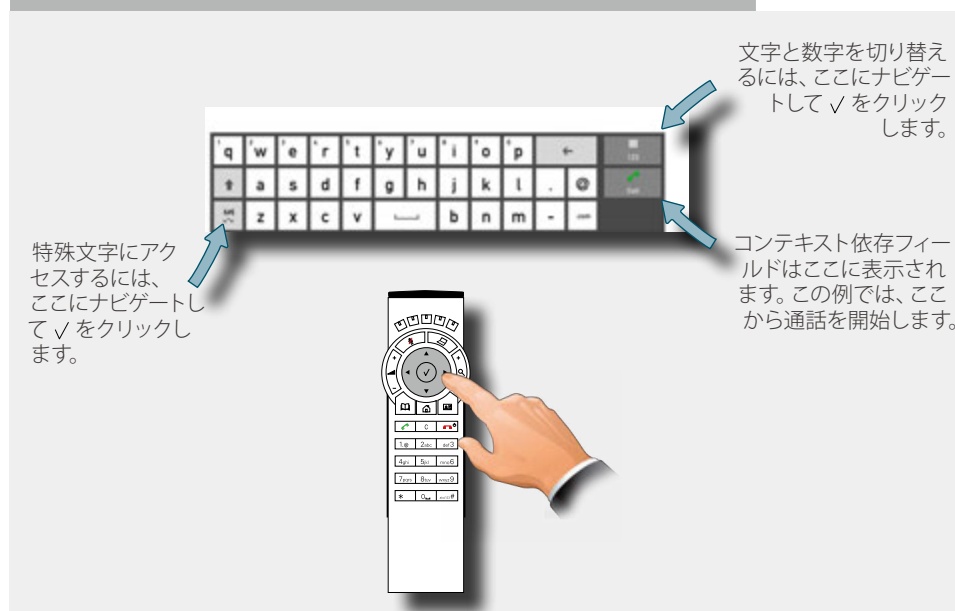
- ・ 通話中ではないときに数字キーを押すと、**通話**メニューが表示されます。
- ・ システムは自動的にテキスト入力フィールド内部に入り、テキスト モード（**abc**）に切り替わります。文字を入力する最も簡単で便利な方法は、画面の仮想キーボードを呼び出すことです。下記の指示に従って、キーボードを呼び出します。
- ・ 携帯電話でテキスト メッセージを作成するときと同じように、キーパットも使用できますが、仮想キーパットのほうがはるかに便利で、入力速度も優れています。

- ・ 自動的に表示されない場合、左から 2 つ目の**機能**キーを押して、仮想キーボードを呼び出します。
- ・ キーボードの内側のカーソルを移動するには、**▲ 矢印**キーを使用します。
- ・ 4 つの**矢印**キーをすべて使用して、キーボード内を移動します。
- ・ 目的のキーに到達したら、**✓**を押して文字または数字を入力フィールドに挿入します。
- ・ アルファベット / 数字選択フィールドにナビゲートした場合、**✓**を押すと数字からアルファベットにまたはアルファベットから数字に切り替わります。必要なだけここでナビゲートおよび選択を行います。特殊文字を入力する必要がある場合も同じ原理が当てはまります。
- ・ 入力したら、**機能**キーを押して、キーボードを非表示にします。これで、入力が有効になります。

仮想キーボードの呼び出し



仮想キーボードの詳細



画面のレイアウト

画面のレイアウトは、右側に示すとおり変更できます。

ディスプレイ オプション画面を表示するには、**【レイアウト】** (👤) キーを押します。または、**【設定】** > **【レイアウト】** からアクセスできます。

- 矢印キーで選択肢の間を移動し、✓ を使用して、目的の選択肢を選択します。
- 自画面 (自分のシステムから送信ビデオ信号を表示する) を含めるかどうかは任意です。これは、自分のシステムが他のユーザーからどのように見えるかを示します。

ヒント: 画面への壁紙の追加

【ホーム】 メニューで **【設定】** ヘナビゲートし、✓ キーを押します。



【設定】 サブメニューで **【壁紙】** ヘナビゲートします。もう一度 ✓ を押します。

利用可能なオプションから選択し、✓ キーを押してメニューを終了し、選択を有効にします。詳細については、▶ 20 ページも参照してください。



レイアウト変更



通話外でのレイアウト制御は、自画面の表示と壁紙の表示の選択に限定されます。

ただし、すでに自画面を有効にしている場合、再度メニューに入るとこれらのオプションがメニューに表示されます。

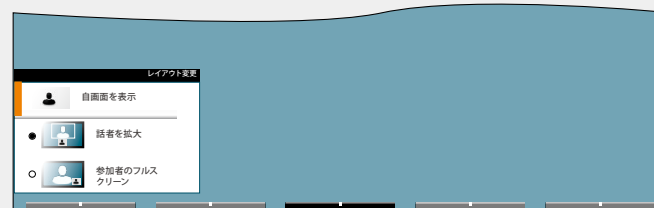


通話中のレイアウト制御は、自画面が参加者のフルスクリーンの表示かを選択できます...

ただし、すでに自画面を有効にしている場合、再度メニューに入ったとき、自画面を表示する場所を選択できます。



MultiSite 会議をホストするとき、リモート レイアウト (送信ビデオ) を変更します...

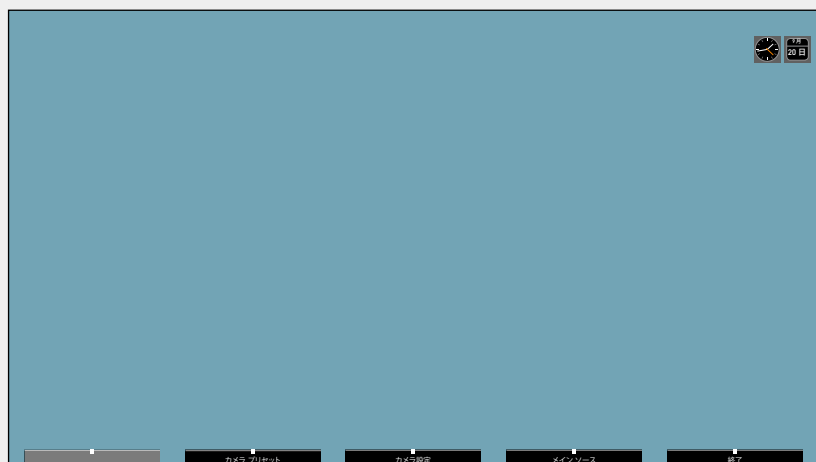


【レイアウト】 (👤) を押すと、ソフトキーが表示され、送信ビデオのレイアウトを選択できます。利用可能なすべての定義済みのレイアウトから選択します。リモート システムの実際のレイアウトには影響しないことに注意してください。

カメラ プリセット

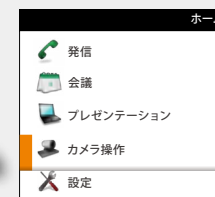
カメラの方向やズームを事前に定義した設定を作成できます。これは、**カメラ プリセット**と呼ばれます。詳しくは、次のページを参照してください。

カメラ プリセットのある場所



プリセットの使用

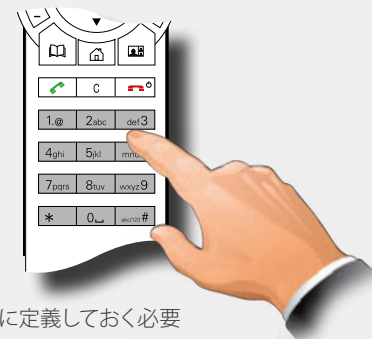
1



カメラ プリセットをこれ以前に定義しておく必要があります。

リモート コントロールの キーを押して【ホーム】メニューを表示し、【カメラ操作】を選択します。メニューをナビゲートするには、▲ および ▼ 矢印キーを使用します。✓ を使用して、プリセットを選択します。これで、カメラはプリセットに従って動きます。この機能はいつでも使用できます。

2

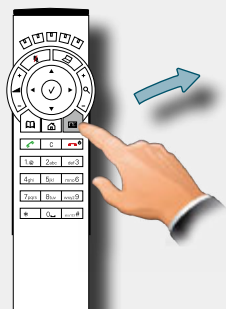


カメラ プリセットをこれ以前に定義しておく必要があります。

リモート コントロールの キーを押して【ホーム】メニューを表示し、【カメラ操作】を選択します。0 ~ 9 キーを使用して、プリセットを選択します。これで、カメラはプリセットに従って動きます。この機能はいつでも使用できます。

新規カメラ プリセットの追加 (I)

1



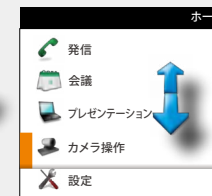
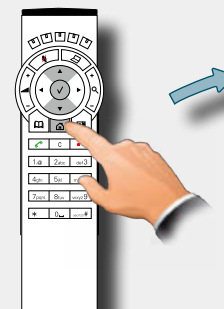
通話中でない場合は【レイアウト】キーを押して、【自画面を表示】を選択し、必要に応じて、次に✓キーを押します。これで、システムからの出力ビデオを確認できます。

2



必要に応じて、パン、チルトおよびズームを調整します。

3



⏏キーを押してメインメニューを表示して、【カメラ操作】にナビゲートします。
✓キーを押します。

4

これで、図のようにソフトキーが画面下部に表示されます。



リモート コントロールの【カメラプリセット】ソフトキーに対応する機能キーを押して【カメラプリセット】メニューを表示し、メニューを開きます。



5



【カメラ プリセット】メニューで【カメラ プリセットの編集】へナビゲートし、✓キーを押します。
すでに存在しているプリセットがあればここにリストされます。

6



定義する未定義のプリセットにナビゲートします。
確認したら、✓キーを押します。

新規カメラ プリセットの追加 (II)

7

仮想キーボードが自動的に呼び出されます。



8



図のように、▲ 矢印キーを使用して、仮想キーボードにカーソルを移動します(カーソルは、オレンジ色の正方形で示されます)。

9



プリセットに説明的な名前を付けます。

矢印キーを使用してキーボードを移動し、✓キーを使用して文字を選択します。

特殊文字や数字には、対応するキーでアクセスします。

10



必要な回数 ▼ 矢印キーを押して、図のように、[新しいプリセットを保存]にカーソルを移動します。



11

✓キーを押して、変更を有効にします。これは、システムにより確認されます。



12



メニューを終了するには、☐キーを押します。

または、別のプリセットの定義や既存のプリセットを再定義します (詳しくは、次のページを参照してください)。



既存のカメラ プリセットの編集 (I)

1



2

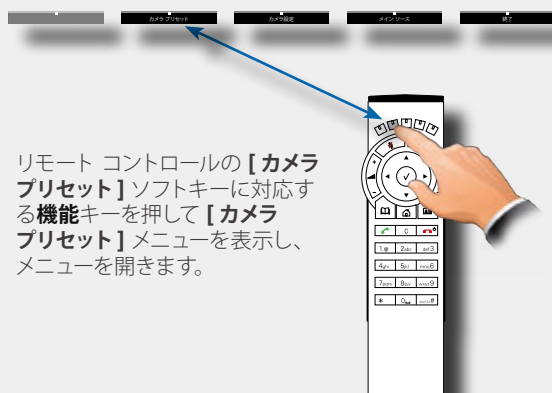


3

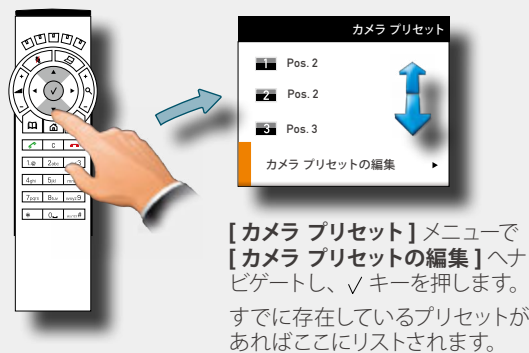


4

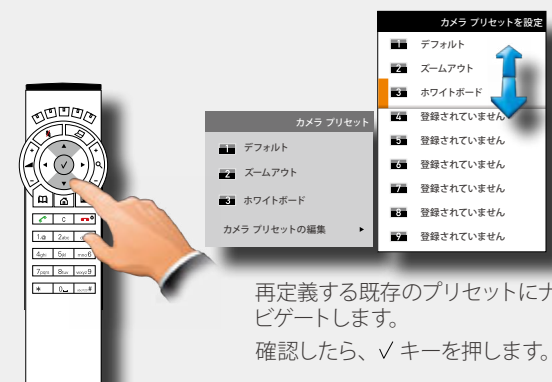
これで、図のようにソフトキーが画面下部に表示されます。



5

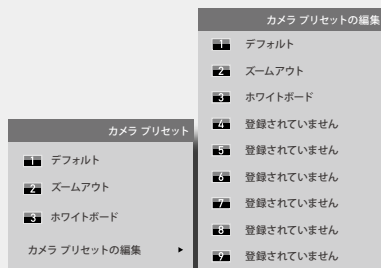


6

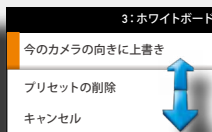


既存のカメラ プリセットの編集 (II)

7



8



✓ キーを押して、変更を有効にします。これは、システムにより確認されます。



目的に応じてナビゲートします。


- **今のカメラの向きに上書き**: プリセットを再定義します。
- **プリセットの削除**: リストから削除します。
- **キャンセル**: 変更を適用せずにメニューを終了します。

カメラ設定

カメラ設定では、露出とホワイトバランスを調整できます。

以下のように実行します。

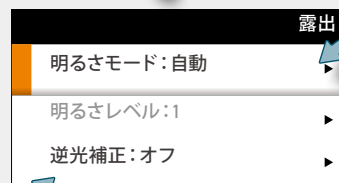
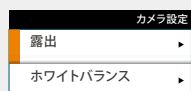
1. リモート コントロールの  キーを押して **【レイアウト】** メニューを表示します。必要に応じて、表示される **【自画面】** を選択します。

2.  キーを押して **【ホーム】** メニューを表示して、**【カメラ操作】** を選択します。

3. これでソフトキーが表示されます。**【カメラ設定】** に対応する機能キー（左から 2 つ目の機能キー）を押します。

4. 以下に説明する手順に従ってください。

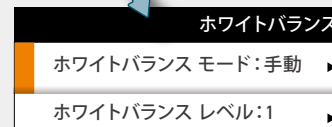
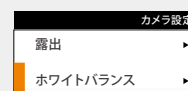
カメラの露出の調整



【明るさモード】を【手動】に変更した場合、【明るさレベル】を設定できるようになります。ここでは【自動】が選択されているため、実際のレベルはグレー表示になっています。

逆光補正は、背後からカメラを照らす逆光を補正します。このような照明の状態では、被写体が必要以上に暗く見えます。

カメラのホワイトバランスの調整



この場合、ホワイトバランスが【手動】に設定されているため、通常の方法でホワイトバランスの設定にアクセスできます。【自動】のほうが便利であれば、【自動】を使用します。

メイン ソース

メインの入力ソースに何を使用するかを選択できます。これは、通常、カメラ、2 台目のカメラ（該当する場合）、PC 入力または DVD プレーヤなどその他のソースになります。

以下のように実行します。

1. メニューで、**[設定]** > **[メイン ソース]** を選択して、サブメニューを展開します。
2. **矢印**キーで選択肢の間を移動し、**✓** を使用して、目的の選択肢を選択します。
3. メニューを折りたたむには、**◀ 矢印**キーを使用します。

メイン ソースの設定



通話設定 — 概要

[通話設定] メニューを使用して、デフォルトのビット レートおよびシステムが着信通話に応答する方法を設定します。応答は、自動または手動に設定できます。この詳細は、次のページを参照してください。

以下のように実行します。

1. メニューで、**[設定]** > **[通話設定]** を選択して、サブメニューを展開します。
2. **矢印**キーで選択肢の間を移動し、**✓** を使用して、目的の選択肢を選択します。
3. メニューを折りたたむには、**◀ 矢印**キーを使用します。

通話設定オプション



通話設定 — 自動応答オプション

着信するたびに自動的に応答するようにシステムを設定できます。そのように設定する場合、システムが接続するまでにかかる時間の長さも指定できます。

プライバシーのために、システムが自動的に応答するときにマイクをミュート (オフ) にすることができます。また、システムを **【着信拒否】** に設定することもできます。

オプションの詳細

通話設定	オプション	説明
自動応答モード: オン	<input checked="" type="radio"/> オン	【オン】に設定するとシステムが着信通話に自動的に応答し、【オフ】に設定すると手動で応答します。
自動応答遅延: 5 秒	<input type="radio"/> オフ	
自動応答ミュート: オフ		◀ および ▶ 矢印キーを使用して、システムが接続するまでにかかる時間の長さを変更します。間隔は、0 ～ 50 秒です。
着信拒否モード: オフ		
デフォルトの帯域: 4000 kbps		
自動応答モード: オン		プライバシーのために、自動応答するときにマイクをミュートに設定できます。この場合、自分でマイクを有効にする必要があります (🔊 を押します)。
自動応答遅延: 5 秒		
自動応答ミュート: オフ	<input checked="" type="radio"/> オン	さらにプライバシーを保護するには、システムを 【着信拒否】 に設定できます。設定すると、システムは着信通話に回答しなくなります。 【着信拒否】 を無効にすると、この機能が有効だった間に行われた通話の試行が、不在着信としてリストされます。
着信拒否モード: オフ	<input type="radio"/> オフ	
デフォルトの帯域: 4000 kbps		

通話設定 — デフォルトの帯域

【通話設定】 メニューでは、キロビット / 秒単位のデフォルトの数値で表されるデフォルトの帯域を設定できます。

現在の環境での最適の設定についてシステム管理者に確認することもできます。

デフォルトの帯域オプション

設定	デフォルトの帯域オプション
レイアウト	<input type="radio"/> 128
メイン ソース: Main camera	<input type="radio"/> 256
通話設定	<input type="radio"/> 384
言語: 英語	<input type="radio"/> 512
自動応答モード: オン	<input type="radio"/> 768
自動応答遅延: 5 秒	<input type="radio"/> 1152
自動応答ミュート: オフ	<input type="radio"/> 1472
着信拒否モード: オフ	<input type="radio"/> 1920
デフォルトの帯域: 4000 kbps	<input type="radio"/> 2560
	<input type="radio"/> 3072
	<input checked="" type="radio"/> 4000

表示されていない設定にアクセスするには、▲ および ▼ 矢印キーでスクロールします。

オプションは、128、256、384、512、768 (初期のデフォルト)、1152、1472、1920、2560、3072、4000、6000 (図には表示されていません) ビット / 秒です。

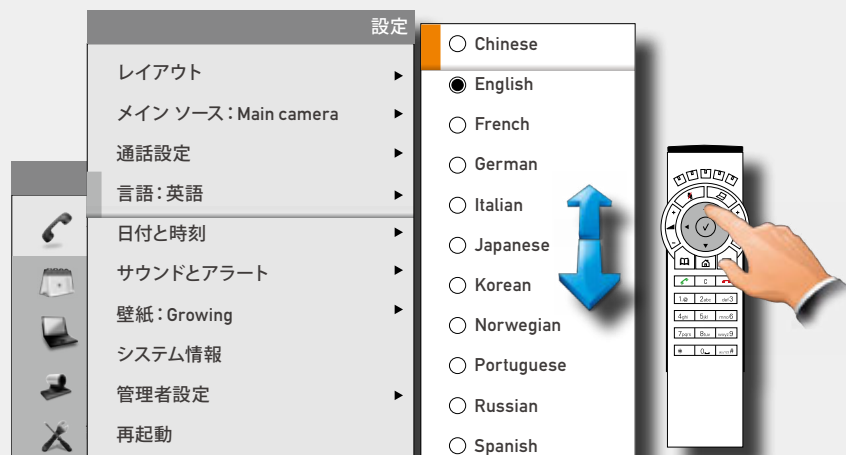
言語設定

これにより、メニューで使用する言語と表示する設定を指定できます。次の言語がサポートされています。英語、ノルウェー語、スウェーデン語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、日本語、ロシア語、スペイン語、韓国語、フィンランド語、中国語（簡体字）、トルコ語、ポーランド語、ハンガリー語、チェコ語。

以下のように実行します。

1. **【ホーム】**メニューから、**【設定】**にナビゲートして、✓ キーを押します。
2. 次に **【言語】**にナビゲートして、もう一度 ✓ キーを押します。▲ および ▼ **矢印**キーを使用して選択します。
3. ✓ キーを押してメニューを終了し、変更を有効にするか、または ◀ **矢印**キーを押してメニューを終了し、1 つ前のステップに戻ります。

言語設定オプション



表示されていない言語にアクセスするには、▲ および ▼ **矢印**キーでスクロールします。

日付と時刻の設定について

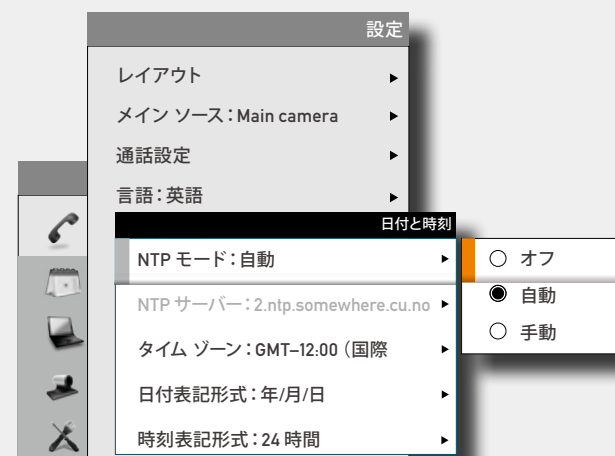
システムが日付と時刻を選択するように設定することも、日時の形式と合わせて日付とタイムゾーンを設定することも、日付および時刻そのものを設定することもできます。

以下のように実行します。

1. **【ホーム】**メニューから、**【設定】**にナビゲートして、✓ キーを押します。次に **【日付と時刻】**にナビゲートして、✓ キーを押します。**【NTP モード】**を**【オフ】**、**【自動】**、**【手動】**から選択します。
オフ: NTP モードは無効です。ユーザーが日付と時刻を指定する必要があります。
自動: システムが NTP サーバーそのものを検索します。
手動: ユーザーが NTP サーバーへのパスを指定する必要があります。
2. ✓ キーを押してメニューを終了し、変更を有効にするか、または ◀ **矢印**キーを押してメニューを終了し、1 つ前のステップに戻ります。

詳細は、次のページに記載されています。

日時設定の概要



ユーザーによる日付と時刻の設定

ユーザーは、日時の形式と合わせて日付とタイムゾーンを設定することも、日付および時刻そのものを設定することもできます。

以下のように実行します。

1. **【ホーム】** メニューから、**【設定】** にナビゲートして、✓ キーを押します。次に **【日付と時刻】** にナビゲートして、✓ キーを押します。
2. 矢印キーと ✓ キーを使用して、必要に応じてすべてを設定します。

無効な NTP サーバー

通話設定

NTP サーバー: オフ

NTP サーバー: 2.ntp.somewhere.cu.no

日: 10 日

月: 9 月

年: 2010 年

時刻: 13:37

日付表記形式: 年/月/日

時刻表記形式: 24 時間

ここに表示されているオプションは、NTP サーバーの **【オフ】** が選択された場合のみ利用できます。

☐ 年.月.日 (yyyy.mm.dd)
☐ 月.日.年 (mm.dd.yyyy)
☒ 日.月.年 (dd.mm.yyyy)

☒ 24 時間
☐ 12 時間 (am/pm)

日付と時間を自動的に設定

日付と時刻を自動的に設定させることができます。NTP サーバーを **【自動】** に設定すると、システムが NTP サーバーへの接続を処理します。

【手動】 に設定した場合、ユーザーが NTP サーバーへのパスを指定する必要があります。いずれの場合でも、時刻と日付の形式およびタイムゾーンを指定する必要があります。

有効な NTP サーバー

表示されていない設定にアクセスするには、▲および▼矢印キーでスクロールします。

日付と時刻

NTP サーバー: 自動

NTP サーバー: 2.ntp.somewhere.cu.no

タイムゾーン: GMT-11:00 (ミッドウェー島)

日付表記形式: 年/月/日

時刻表記形式: 24 時間

タイムゾーン

☐ GMT-12:00
☒ GMT-11:00
☐ GMT-10:00
☐ GMT-09:00
☐ GMT-08:00
☐ GMT-07:00
☐ GMT-07:00
☐ GMT-06:00
☐ GMT-06:00
☐ GMT-06:00

☐ 年.月.日 (yyyy.mm.dd)
☐ 月.日.年 (mm.dd.yyyy)
☒ 日.月.年 (dd.mm.yyyy)

☒ 24 時間
☐ 12 時間 (am/pm)

日付と時刻

NTP サーバー: 手動

NTP サーバー: 2.ntp.somewhere.cu.no

タイムゾーン: GMT-11:00 (ミッドウェー島)

日付表記形式: 年/月/日

時刻表記形式: 24 時間

保存

キャンセル

NTP サーバーを **【手動】** に設定した場合、NTP サーバーへのパスを指定できます。それ以外については、**【自動】** 設定との違いはありません。

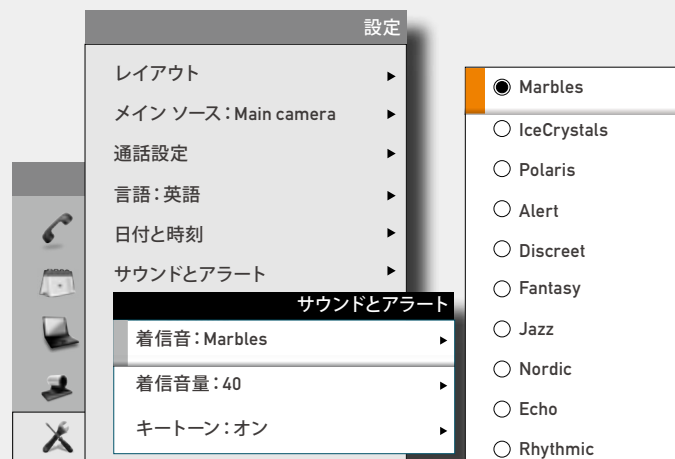
着信音の選択

システムでは、多数の着信音から選択できます。

以下のように実行します。

1. **[ホーム]** メニューから、**[設定]** にナビゲートして、✓ キーを押します。
2. 次に **[サウンドとアラート]** にナビゲートして、✓ キーを押します。**[着信音]** にナビゲートして、✓ キーを押します。▲ および ▼ **矢印** キーを使用して、着信音の一覧内を移動します。カーソルを移動すると、各着信音が再生されます。
3. ✓ キーを押してメニューを終了し、変更を有効にするか、または ◀ **矢印** キーを押してメニューを終了し、1 つ前のステップに戻ります。

着信音の選択



着信音量の設定

システムでは、着信音量を設定できます。

以下のように実行します。

1. **[ホーム]** メニューから、**[設定]** にナビゲートして、✓ キーを押します。
2. 次に **[サウンドとアラート]** にナビゲートして、✓ キーを押します。**[着信音量]** にナビゲートして、✓ キーを押します。◀ および ▶ **矢印** キーを使用して、音量を設定します。
3. ✓ キーを押してメニューを終了し、変更を有効にするか、または ◀ **矢印** キーを押してメニューを終了し、1 つ前のステップに戻ります。

着信音量の設定



キートンのオンまたはオフへの設定

ダイヤル ダイアログ メニュー内でリモート コントロールのキーを押したとき、サウンドを発するようにシステムを設定できます。

以下のように実行します。

1. **[ホーム]** メニューから、**[設定]** にナビゲートして、✓ キーを押します。
2. 次に **[サウンドとアラート]** にナビゲートして、✓ キーを押します。**[キートン]** にナビゲートして、✓ キーを押します。▲ および ▼ **矢印** キーを使用して選択します。
3. ✓ キーを押してメニューを終了し、変更を有効にするか、または ◀ **矢印** キーを押してメニューを終了し、1 つ前のステップに戻ります。

キートン設定



画面の壁紙の設定

システムでは、画面の壁紙を設定できます。これは、待機中の状態でのみ表示されます。

以下のように実行します。

1. **[ホーム]** メニューから、**[設定]** にナビゲートして、✓ キーを押します。
2. 次に **[壁紙]** にナビゲートして、✓ キーを押します。▲ および ▼ **矢印** キーを使用して壁紙を選択します。カスタム壁紙のアップロードおよび挿入の方法は、次のページで説明します。
3. ✓ キーを押してメニューを終了し、変更を有効にするか、または ◀ **矢印** キーを押してメニューを終了し、1 つ前のステップに戻ります。

壁紙設定オプション



自分の壁紙の挿入

システムでは、自分の壁紙（自分のロゴなど）をアップロードして画面で使用できます。このカスタム壁紙は、最大 1920 X 1200 ピクセルまでの任意のサイズを使用できます。

カスタム壁紙は、システムの Web インターフェイスによりアップロードされます。Web インターフェイスの詳細については、お使いのシステムの管理者ガイドの付録セクションを参照してください。

以下のように実行します。

1. Web ブラウザを開き、システムのコーデック/エンドポイントの IP アドレスを入力します。
2. 画面上部のメニューから **[Configuration] - [Wallpaper]** を選択します。
3. **[参照]** ボタンをクリックしてファイルを選択し、**[Upload]** ボタンをクリックします。
4. **[Custom]** 壁紙（前ページを参照）を選択して、変更を有効にします。

システムの Web インターフェイスへのアクセスは管理者によりパスワード保護されている可能性があります。

システム情報

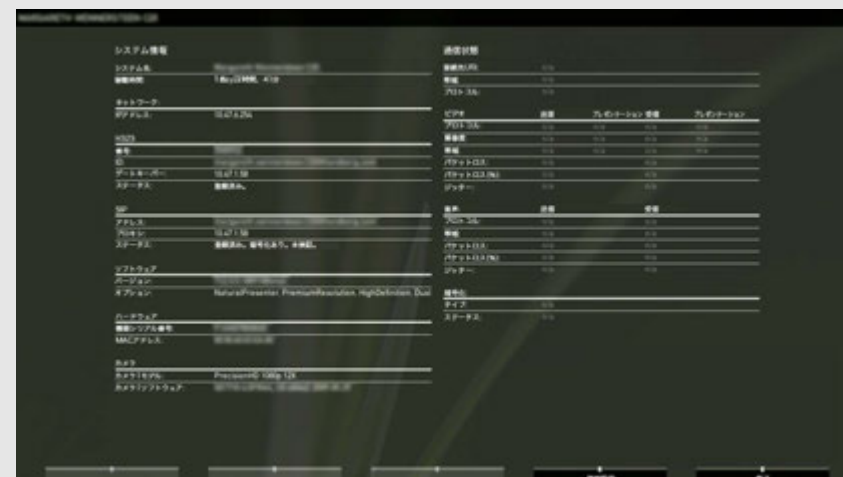
システム情報を表示できます。

以下のように実行します。

1. **[ホーム]** メニューから、**[設定]** にナビゲートして、✓ キーを押します。
2. 次に **[システム情報]** にナビゲートして、もう一度 ✓ キーを押します。
3. この画面を終了するには、**ホーム** キー (⏠) を押します。



この機能へのショートカットが利用できます。システムに **[ホーム]** メニューが表示されていることを確認します（リモート コントロールで ⏠ キーを押して、このメニューを表示します）。次に、右端のソフトキーを押して、**[システム情報]** を表示します。



システム情報		通信状態	
システム名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	接続先 IP	0.0.0.0
接続先 IP	192.168.1.100	状態	0.0.0
ポート番号	192.168.1.100	ポート番号	0.0.0
IP アドレス	192.168.1.100	ビデオ	0.0.0
ビデオ	0.0.0	オーディオ	0.0.0
オーディオ	0.0.0	データ	0.0.0
データ	0.0.0	ネットワーク	0.0.0
ネットワーク	0.0.0	システム	0.0.0
システム	0.0.0	バージョン	0.0.0
バージョン	0.0.0	ビルド	0.0.0
ビルド	0.0.0	プラットフォーム	0.0.0
プラットフォーム	0.0.0	ファームウェア	0.0.0
ファームウェア	0.0.0	ハードウェア	0.0.0
ハードウェア	0.0.0	ソフトウェア	0.0.0
ソフトウェア	0.0.0	ライセンス	0.0.0
ライセンス	0.0.0	サポート	0.0.0
サポート	0.0.0	ヘルプ	0.0.0
ヘルプ	0.0.0	ログ	0.0.0
ログ	0.0.0	設定	0.0.0
設定	0.0.0	再起動	0.0.0
再起動	0.0.0	終了	0.0.0

詳細設定の表示

ビデオ システムには、システム管理者のみが使用できる詳細設定が別途用意されています。これらの設定は、パスワードで保護されている場合があります。

管理者設定のさまざまな側面は、44 ページの「詳細設定」セクションで詳しく説明します。

管理者設定に関する完全な説明は、お使いのシステムの管理者ガイドで紹介されています。このガイドは Cisco.com から別途ダウンロードできます。

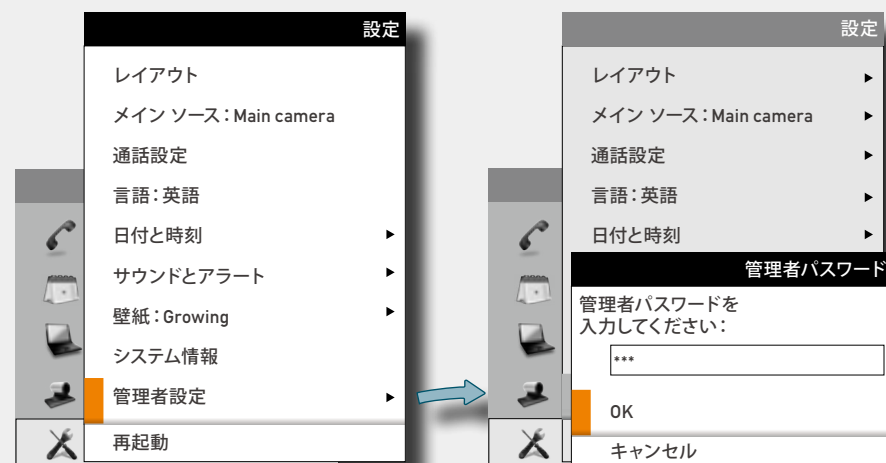
システムの再起動

システム設定、ネットワーク設定、インフラストラクチャ構成の一部の変更には、システムの再起動が必要な場合があります。

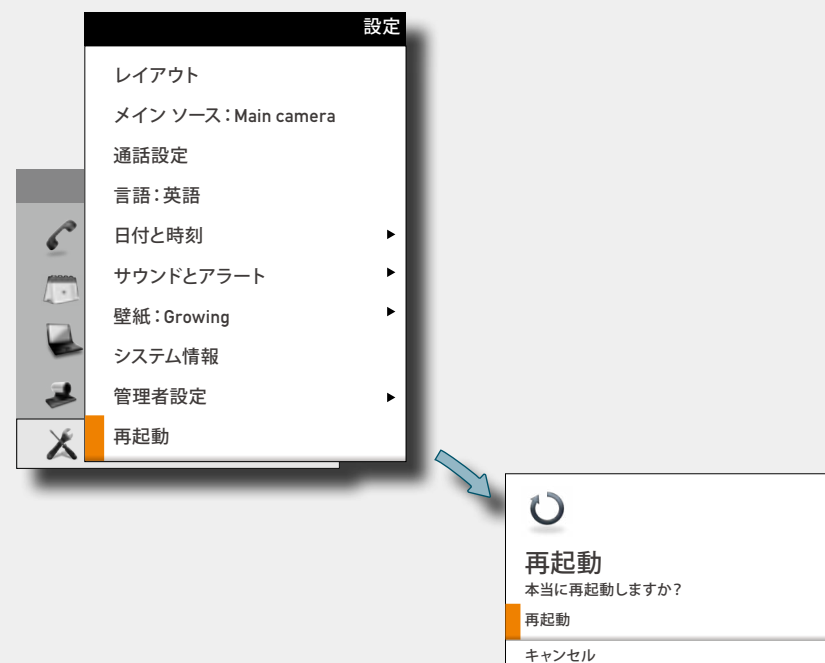
以下のように実行します。

1. **[ホーム]** メニューから、**[設定]** にナビゲートして、✓ キーを押します。
2. 次に **[再起動]** にナビゲートして、✓ キーを押します。
3. 矢印キーと ✓ キーを使用して選択します。

詳細設定の表示



再起動





第 2 章 発信

名前、番号またはアドレスを指定した発信

1



ホームキーを押して、メインメニューを表示します。

2



説明に従って押し仮想キーボードを呼び出します。

3



図のように、▲矢印キーを使用して、仮想キーボードにカーソル(オレンジ色の正方形で示されます)を移動します。

4



矢印キーを使用してキーボードを移動し、✓キーを使用して文字を選択します。
特殊文字や数字には、対応するキーでアクセスします。
入力した内容に一致する項目が表示されます。

5



必要な回数 ▼ 矢印キーを押してキーボードを終了し、一致項目のリストに入ります(リストが表示される場合)。次に矢印キーを使用して、通話相手にナビゲートし、✓キーを押します。

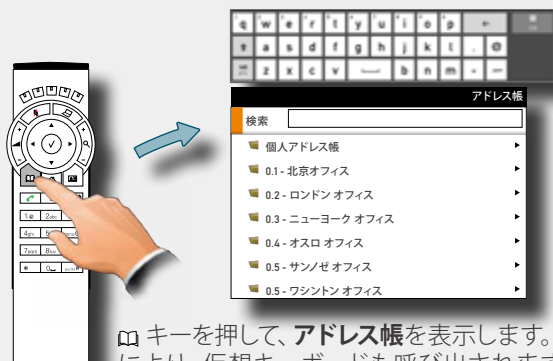
6



または✓キーを押して、実際に発信します。

アドレス帳を使った発信

1



□ キーを押して、**アドレス帳**を表示します。これにより、仮想キーボードも呼び出されます。アドレス帳は、図のように、フォルダを含む場合があります。

検索には現在のフォルダとサブフォルダが含まれるため、最上位（ルート レベルと呼ばれる場合もあります）にいと、検索はすべての（サブ）フォルダ内で実行されます。

2



図のように、▲ 矢印キーを使用して、仮想キーボードにカーソル（オレンジ色の正方形で示されます）を移動します。

3

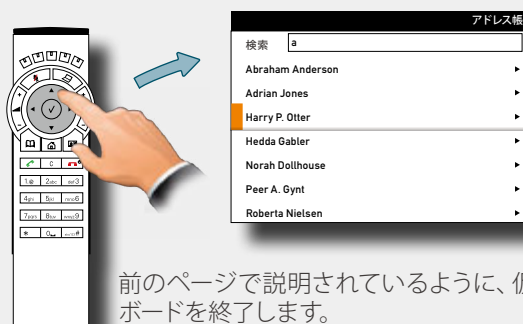


矢印キーを使用してキーボードを移動し、✓ キーを使用して文字を選択します。

特殊文字や数字には、対応するキーでアクセスします。

図のように入力した内容に一致する項目が表示されます。

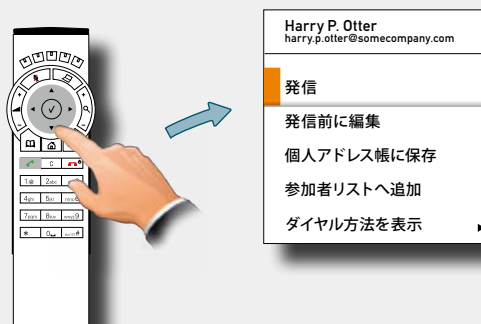
4



前のページで説明されているように、仮想キーボードを終了します。

発信相手のエントリにナビゲートし、✓ キーまたは ► 矢印キーを押して、利用可能なオプションを表示します。

5

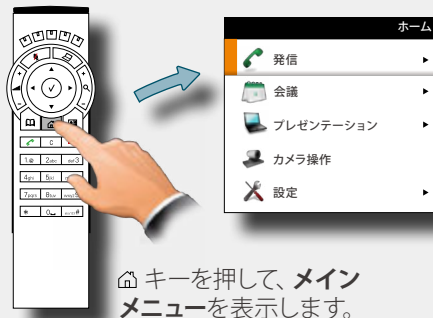


- 選択したエントリへ発信します（✓ または ✓ キーを押します）。
- エントリを編集（たとえば、プレフィックスを挿入）して、発信します。
- 個人の連絡先のリストにエントリを保存します。
- マルチサイト通話で参加者のリストを追加します（オプション機能）。
- ダイヤル方法のオプション（該当する場合に H.323 および SIP）を表示します。

アドレス帳の詳細については、「アドレス帳の使用」に記載されています。このページの一番上にあるメニュー ラインでトピックをクリックします。

発着信履歴のリストによる発信

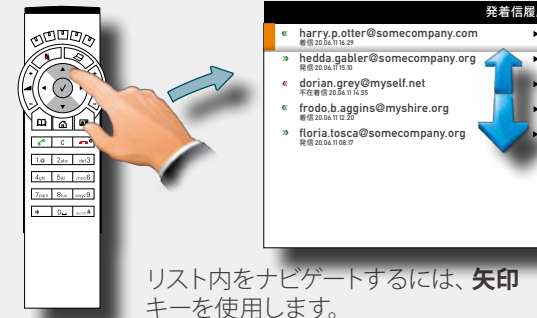
1



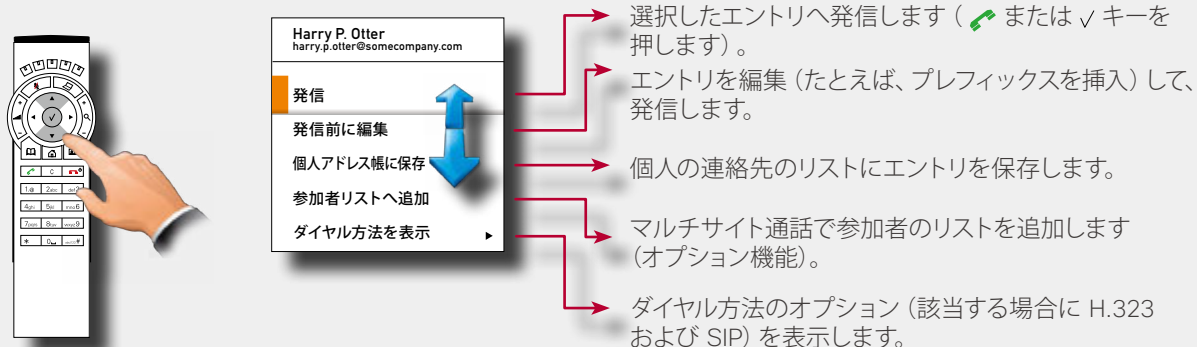
2



3



4



着信しているとき

着信通話に
応答するには、
リモート
コントロールの
緑色の電話機
キーを押し
ます。



着信を拒否するには、
リモート コントロー
ルで 赤色の電話機
キーを押します。



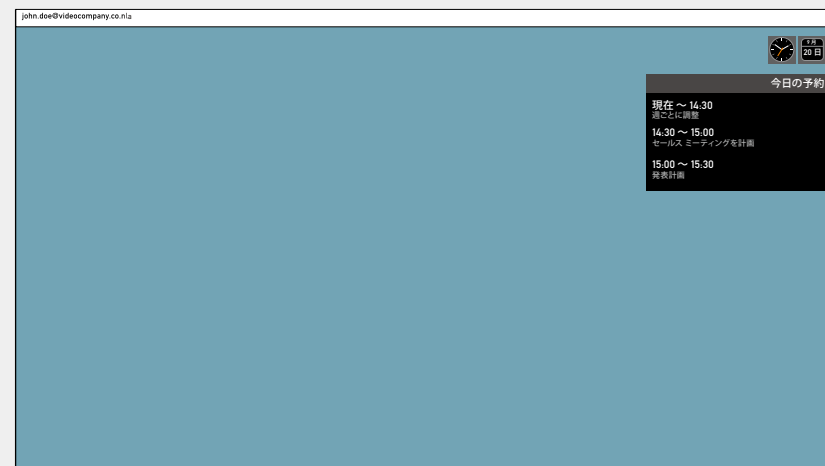
進行中の通話の終了

進行中の通話を終了するには、
リモート コントロー
ルの 赤色の電話機
キーを押します。



管理システム予約リスト

ビデオ ネットワークで Cisco Telepresence Management System (TMS) を使用している場合、ビデオ システムをリモートからスケジュールされた会議に合わせて設定できます。通常、TMS は Microsoft Outlook などのツールと連動して、従業員にビデオ通話および会議のスケジュールができるようにします。お使いのシステムに該当する予約が、下の例に示されているように画面に表示されます。



複数への発信 (オプション)

お使いのビデオ エンドポイントが**オプション**の内蔵 Multisite 機能を装備している場合、ポイント ツー ポイント ビデオ通話 (二者間の通話) を拡張して他の参加者を含められる場合があります。この場合、通話は**ビデオ会議**になります。

進行中のビデオ通話は、いつでも参加者を追加することでビデオ会議に拡張できます (右の例を参照)。

また、通話する前に通話相手のリストを設定し、一括して全員に発信できます (下の例を参照)。

ビデオ システム自体にビデオ会議を許可するインフラストラクチャがなくても、ビデオ ネットワークは対応している場合があります。これには、外部多地点接続端末 (MCU) が存在している必要があります。

最先端のビデオ システム (Codec C60 または C90 を使用しているもの) は (Multisite 機能を装備している場合)、ユーザーを含む 4 人の参加者とビデオ会議を設定できます。外部 MCU を使用すると、さらに多数の参加者との会議を設定できます。

Codec C20 を装備しているシステムには Multisite 機能はありません (システムにあるコーデックのタイプを確認するには、▶ 30 ページを参照してください)。ただし、このユーザーガイドで説明されているすべての製品は Multiway™ を搭載しています (詳細については、次のページを参照してください)。

外部 MCU の使用方法の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

相手に発信する前に、発信相手のリストを設定

この例は、電話をかける前に作成された 2 つのエントリを示しています。

これには、まず電話をかける最初の人を (直接、発信履歴リストまたはアドレス帳から) 入力し、次に **【他の参加者を追加】** を選択し、2 人目を選択します。全員を入力したら、リモート コントロールで **【発信】** を押すか、メニューで **【発信】** アイコンを選択します。

Multisite 機能を装備しているユニットでは、外部 MCU を使用していない場合、最大 3 人の参加者に同時に電話をかけることができます。

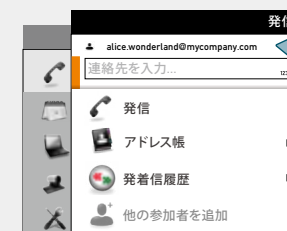
参加者を入力した後、 キーを押して電話をかけます。もちろん、これらはいずれも通常の方法でアドレス帳から取得できます。



参加者 1 人ずつへの発信

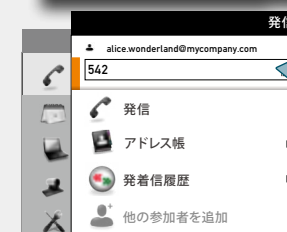
1

通話中、もう一度 **【発信】** メニューを開きます...



2

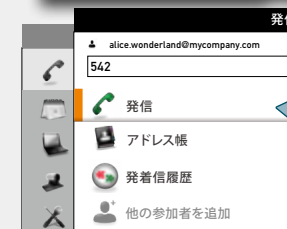
次に、名前、番号または住所 (この場合、「542」) をキーで入力するか、またはアドレス帳により、誰かに電話をかけます。都合がよければ、仮想キーボードを呼び出します (7 ページの ▶ 「テキスト フィールドへのテキスト入力」を参照)。



3

最後に、 **【発信】** にナビゲートして電話をかけます...

別の参加者を追加する場合は、プロセスを繰り返します。可能な参加者の最大数は、システムの構成により異なります。



ビデオ会議の終了

ビデオ会議のホストは、会議を始めた人です。これは、他の全員が接続しているエンドポイントです。

ホストには、参加者の接続を停止できる権限があります。それ以外の参加者は、他の参加者を制御することはできませんが、いつでも自分自身を会議から切断することはできます。



Multiway™ を使用して複数の相手に電話をかける

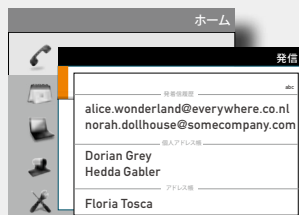
このユーザー ガイドで説明しているすべてのシステムでは、複数の相手に電話をかける手段として Multiway を提供しています。Multiway を正常に使用するには、特定のインフラストラクチャ製品が存在する必要があります。不明な点がある場合は、システム管理者にお問い合わせください。

Multiway の使用、ケース 1

すでに通話中で、通話を拡張して別の人を含めるとします。

以下のように実行します。

- 1 リモート コントロールで または キーを押して、電話をかけます。



- 2 通話に含める人の番号 または URI を (直接またはアドレス帳や表示されるリストで) 入力し、 キーを押して、電話をかけます。これで、現在の通話が保留されます。新しい参加者が応答したら、**[接続して参加]** を選択します。



- 3 これで、3 人全員が同じ会議に参加しています。
- 4 必要な場合は、繰り返してさらに参加者を含めます。

Multiway の使用、ケース 2

通話中に別の電話がかかってきます。呼び出し側を現在の通話に参加するように招待するかどうかを決定する必要があります。

- 1 通話中に別の電話がかかってきます。3 つのオプションを選択できるダイアログ ボックスが表示されます。



- 2 **[許可 (今の通話を保留)]** を選択します。
- 3 会議を作成する準備ができたなら、**[接続して参加]** を選択します。



- 4 これで、3 人全員が同じ会議に参加しています。

ケース 2 オプション: Multiway 会議を設定しない場合、上記の 2. で次の選択肢があります。

- 現在の通話の代わりに着信通話に応答する場合、**[許可 (今の通話を切断)]** を選択します。
- 着信に応答しない場合は、**[拒否]** を選択します。



Multiway 通話の参加者の最大数は、ネットワークのインフラストラクチャの機能のみによって制限されます。このページで説明している 2 つのケースは、必要に応じて組み合わせてもかまいません。

システムに搭載されているコーデック

複数の参加者に電話をかけるオプション (Multisite 機能) は、すべてのビデオ エンドポイントに当てはまりません。これは、システムに搭載されているコーデックのタイプにより異なります。以下が適用されます。

- Codec C40、C60、C90 を使用するエンドポイントは、Multisite および MultiWay をサポートします。
- Codec C20 を使用するエンドポイントは Multisite はサポートしませんが、MultiWay はサポートします。
- Quick Set C20/C20 Plus はいずれも Codec C20 を使用します。したがって、Multisite はサポートしませんが、MultiWay はサポートします。

いずれの場合でも、Multisite は、お使いのエンドポイントに存在する場合も存在しない場合もあるオプション機能です。

システムに搭載されているコーデックのタイプを確認する必要がある場合は、システムの下部モジュールのふたを開きます。

コーデック タイプの確認



図のように、下部のふたを開き、どのタイプのコーデックがあるか確認します。

Profile シリーズのコーデック:



Codec C90



Codec C60



Codec C40



Codec C20



第 3 章

アドレス帳の使用

アドレス帳の基本機能

ビデオ システムには、アドレス帳があります。アドレス帳は、携帯電話と非常に似た方法で整理されています。

自分独自の連絡先リストを追加できる項目や、ほとんどの会社のソリューションとして、会社の電話リストが含まれます。

通常、この会社の電話リストは、別売りの Cisco Telepresence Management Suite (TMS) などの管理システムを使用して、システム管理者がリモートからインストール、維持します。

自分で会社のリストを編集することはできませんが、**個人アドレス帳**にエントリを追加することはできます。エントリは、必要に応じて編集できます。

アドレス帳のナビゲーション

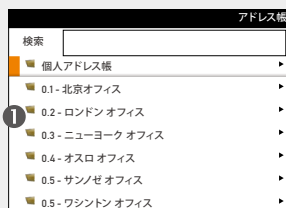


アドレス帳では、**矢印**および **✓** キーでナビゲートします。

アドレス帳には、フォルダ アイコン (1) で示されるフォルダが含まれる場合があります。フォルダの内容を表示するには、**▶ 矢印** キーを押します。より下のレベルのフォルダに移動したい場合は、同じ操作を繰り返します。

低いレベルにいるときはいつでも、**◀ 矢印** キーを使用して 1 レベル戻ることができます。

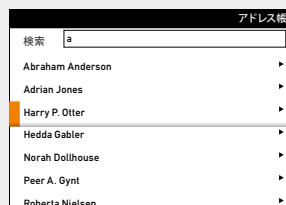
エントリの検索は、次のページで説明しています。



アドレス帳のエントリへの通話



エントリが見つかったら、**☎** キーを押すだけで電話をかけられます。



アドレス帳を開く

1

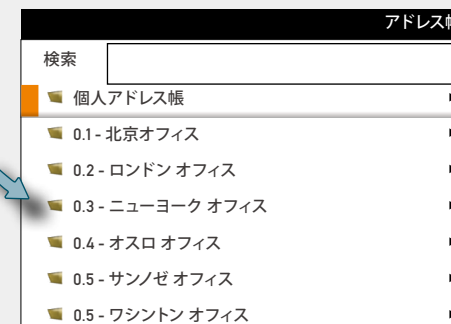
☰ キーを押します...



... [アドレス帳] メニューが開きます ...

2

フォルダには、アドレス帳エントリが含まれます (サブフォルダを含む場合があります)。



通常、アドレス帳には自分の**個人アドレス帳**および会社のアドレス帳が含まれています。**個人アドレス帳**には、自分の連絡先リストを作成できます。

3

アドレス帳は、**[発信]** メニューからもアクセスできます。



アドレス帳の検索

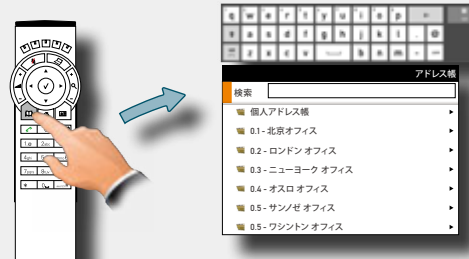
個人アドレス帳には、最大 200 エントリまで収録できます。また、アドレス帳全体のサイズは実質的に無制限です。このため、矢印キーを唯一のナビゲーション ツールとして使うと、作業量が大きくなります。どうすればよいでしょうか。

検索機能を利用できます。仮想キーボードにより、検索の手順はエントリを見つけるための簡単で便利な方法になります。

アドレス帳は、図のように、フォルダを含む場合があります。実行される検索には現在のフォルダとサブフォルダが含まれるため、最上位（ルート レベルと呼ばれる場合もあります）にいと、検索はすべての（サブ）フォルダ内で実行されます。

エントリを検索する方法

1



キーを押して、**アドレス帳**を表示します。これにより、仮想キーボードも呼び出されます。

2



図のように、▲ **矢印キー**を使用して、仮想キーボードにカーソル（オレンジ色の正方形で示されます）を移動します。

3



矢印キーを使用してキーボードを移動し、✓ キーを使用して文字を選択します。

特殊文字や数字には、対応するキーでアクセスします。

図のように、入力した内容に一致する項目が表示されます。

選択したエントリに電話をかける方法は、「発信」セクションに示されています。

検索を絞り込むには、文字を追加します。

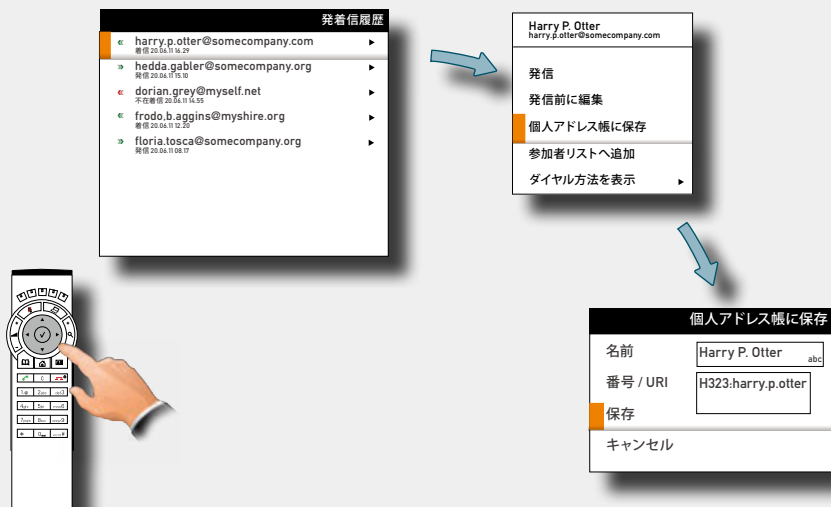
例：「da」と入力すると、「**D**ave Olson」や「**D**avid Jones」だけでなく「John **D**ahl」や「Vittorio **D**almazzino」などのエントリも返されます。大文字と小文字の区別はありません。

アドレス帳への新しい連絡先の追加

新しい連絡先は、**個人アドレス帳**にのみ追加できます。他のエントリは、システム管理者が入力する必要があります。

発着信履歴またはアドレス帳からのエントリの追加

アドレス帳内または発着信履歴のリスト内にいる場合、個人アドレス帳にコピーするエントリにナビゲートして、**✓** キーを押すか、または **▶ 矢印** キーを押して、**【オプション】** メニューを表示します。

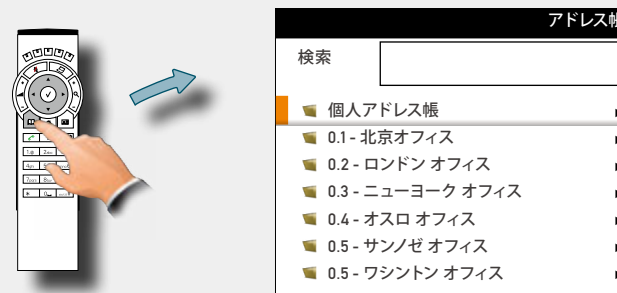


【個人アドレス帳に保存】 にナビゲートして **✓** キーを押し、必要な場合は、エントリを編集できるダイアログ ボックスを開きます。

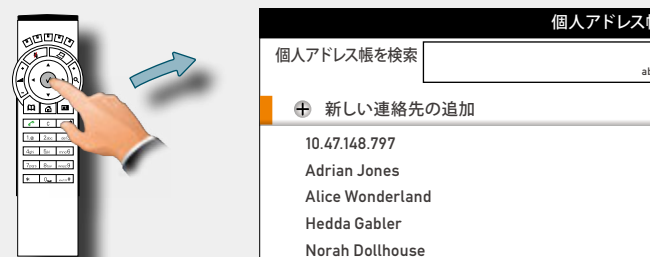
これは、新しい連絡先を手動で入力するのと似ていますが（詳細については、右を参照）、この場合、コピーされた連絡先の名前および番号またはアドレス（URI）は、システムにより入力されています。入力した情報を編集する必要がある場合は、可能です。メニューを終了する前に忘れずに保存してください。

個人アドレス帳への手動によるエントリの追加

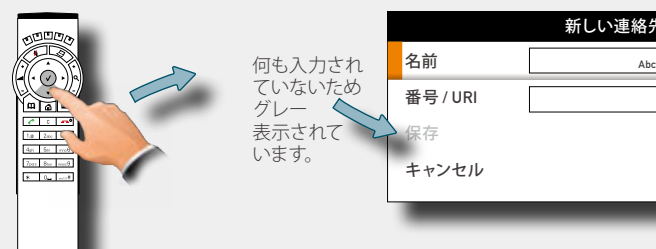
- 1 リモート コントロールで **📖** キーを押してアドレス帳を開き、**【個人アドレス帳】** にナビゲートします。



- 2 個人アドレス帳の内容を表示するには、**✓** キーを押します。



- 3 **【新しい連絡先の追加】** にナビゲートして、**✓** キーを押します。



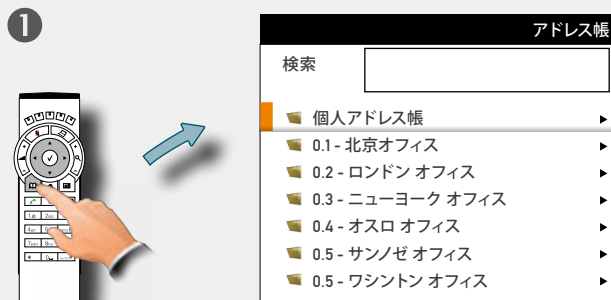
新しい連絡先の名前および番号またはアドレス（URI）を入力します。この情報を入力した後は、**【保存】** フィールドはグレー表示されなくなり、このフィールドにナビゲートして **✓** キーを押し、新しいエントリを保存できます。

または、**【キャンセル】** にナビゲートして **✓** キーを押し、新しいエントリを保存せずにダイアログ ボックスを終了できます。

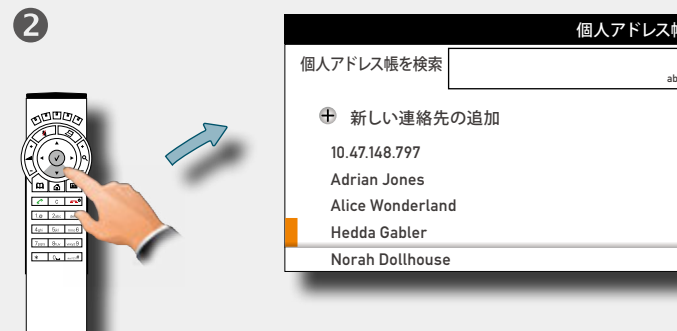
アドレス帳での既存のエントリの編集

個人アドレス帳のエントリはいつでも編集および削除できます。システム管理者による会社のアドレス帳への変更は**個人アドレス帳**には反映しないため、会社のアドレス帳に変更がある場合、この機能を使用して修正してください。

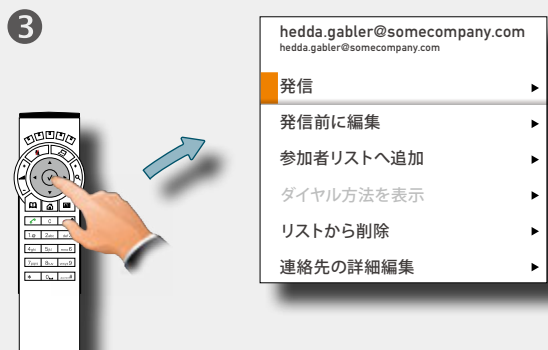
アドレス帳でのエントリの編集



キーを押してアドレス帳を開き、**個人アドレス帳**にナビゲートします。✓キーを押して、**個人アドレス帳**を開きます。



編集するエントリにナビゲートし、✓キーを押します。



エントリに直接電話をかけることができます。

番号または URI を編集できます。

会議を設定するとき、エントリを参加者リストに追加できます。

エントリにデフォルト以外のダイヤル方法がリストされている場合、これにより、たとえば、デフォルトの SIP ではなく H.323 (またはその逆) を使用できます。

リストからエントリを削除できます。

連絡先の詳細を編集できます。





第 4 章

通話中の機能

コンテンツの共有

ビデオ会議室をできるだけ優れたものにするための一般的な推奨事項のヒントは、この製品の管理者ガイドに記載されています。「管理者ガイド」は、www.cisco.com/go/telepresence/docs からダウンロードできます。

デュアル ビデオ ストリーム

デュアル ビデオ ストリームを使用すると、メインビデオともう 1 つの追加ソースという 2 つの異なるライブのビデオ ストリームを同時に表示できます。たとえば、PC プレゼンテーションおよびプレゼンテーションを行っている人の両方を表示できます。

ビデオ システムがデュアル ストリームをサポートしていない場合、このシステムには、2 番目のビデオ ストリームは確立されず、代わりに PC プレゼンテーションはメインビデオとして表示されます。



PC コンテンツの共有

- 1 PC が、マイクへの見通し線をさえぎらないようにします。さえぎると、接続先での音質が低下します。
- 2 DVI ケーブルを確認し、PC をビデオ システムに接続します。PC からのオーディオ ミニジャック出力、または Ipad を含むその他のソースをケーブルのミニジャックに接続して音声が出るようにします。RCA コネクタをコーデック / エンドポイントの対応するソケットに接続します。
- 3 図のようにリモート コントロールで **プレゼンテーション** ボタン(🖥️)を押すと、デフォルトのプレゼンテーション ソースが有効になります。

DVI/VGA 入力、VESA Extended Display Identification Data (EDID) に準拠しており、PC にサポートされている出力形式を知らせることができます。

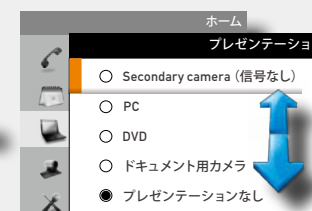


共有コンテンツが表示されない場合

- 通常、PC の画像を PC 画面からビデオ画面に切り替えるには、特別のキーの組み合わせを押す必要があります。
- プレゼンテーションのソースが正しく定義されていることを確認します。この設定へのアクセスは、システム管理者によりパスワード保護されている可能性があります。手順は、この製品の管理者ガイドで説明されています。
- PC が VGA 出力が有効になるように設定されていることを確認します。

ソースの選択

どのソースがプレゼンテーションのソースとして機能するかを指定するには、図のように選択します。各ソースの名前は変更できます。この詳細については、管理者にお問い合わせください。表示されているすべてのオプションが、すべてのシステムで利用できるわけではありません。



カメラの操作

通話中に、自分のカメラの向き（パンおよびチルト）およびズームを操作できます。ただし、リモート コントロール可能なカメラのある接続先システムでも、相手のカメラのパンおよびズームを操作できる場合があります。これは、**相手先カメラ操作**と呼ばれます。

自分のカメラ（自局）の操作

- 1 通話中にリモート コントロールの**矢印**キーを使用して、カメラ操作モードに入ります。下のように、ソフトキーが表示されます。
- 2 **矢印**キーおよび**ズーム** キーを使用して、カメラをパン、チルトおよびズームします。
- 3 完了したら、モードを終了します。



相手先カメラにアクセスします（相手先カメラをリモートで操作できる場合）。
定義済みの場合、自分のカメラのカメラ プリセットにアクセスします。
自分のカメラの設定にアクセスします。
自分のシステムのメイン ソース設定にアクセスします。
このモードを終了します。

接続先のカメラ（相手先）の操作

- 1 通話中にリモート コントロールの**矢印**キーを使用して、カメラ操作モードに入ります。下のように、ソフトキーが表示されます。
- 2 左端の**機能**キーを押して、相手先カメラにアクセスします。
- 3 自局カメラ操作と同様に進みます。



自局カメラ操作に戻ります。

このモードを終了します。



第 5 章

スケジュールされた会議

会議への参加

お使いのシステムは、ビデオ システムに会議をスケジュールできる管理システムに接続されている場合があります。この場合、スケジュールされている会議は、下のように、**会議予定表**に表示されます。この表内はリモート コントロールでナビゲートできません。リモート コントロールでナビゲートできるリストを表示するには、次のページの ▶「今後の会議のリストを表示」を参照してください。

会議予定表には、14 日分のスケジュールされた会議が記載されています。リストは、グループ ヘッダーを使用して、ソートされます。主要なグループ カテゴリは、日別 (例: 今日、明日、水曜日、2011 年 7 月 20 日、など) です。

ビデオ システムが会議に参加できるようになると、**会議リマインダー**が表示されます。正確にいつ表示されるかは、システム管理者が設定する開始時刻バッファ設定により異なります。デフォルトのバッファ設定は 10 分です。

会議リマインダーは、時刻インジケータで会議がいつ始まるか、または会議がどのくらい続いているか (継続している会議は、**進行中の会議**と呼ばれます) を示します。

スケジュールされた会議の開始時刻の 30 秒前から 30 秒後まで、[今すぐ開始] というテキストが表示されます。

会議への参加または参加拒否

- ・ **[会議に参加]** を選択し、**[OK]** を押します。これで、「ダイヤルイン」アドレスに接続します。
- ・ リマインダーを 5 分間一時的に非表示にするには、**[スヌーズ]** を選択して、**[OK]** を押します。
- ・ リマインダーを閉じるには、**[表示を消す]** を選択して、**[OK]** を押します。



会議予定表
の例

会議リマインダーの例

会議の詳細

リマインダーを使用して、通知された会議の詳細を知ることができます。**[会議の詳細]** にナビゲートして、項目を展開するだけです。

[会議の詳細] には通常、主催者が誰か、会議が録画されるかどうか、会議の説明、必要に応じて拡張可能かどうか (詳細については、43 ページの ▶「スケジュールされた会議の延長」を参照)、ダイヤルイン情報などが含まれます。

スケジュールされた会議が **[プライベート会議]** として表示される場合、主催者に関する情報のみが含まれる点にご注意ください。タイトル、拡張可能な会議の概要、ダイヤルイン情報などはありません。

会議の詳細がどのように提示されるかに関する例は、▶ 次のページを参照してください。

会議の詳細の表示

- ・ リマインダーで、**[会議の詳細]** にナビゲートして、このメニュー項目を展開して会議の詳細を確認します。会議の詳細の例は、次のページに記載されています。



今後の会議のリストを表示

自分のビデオ システムを含む今後の会議の詳細を確認する場合、リモート コントロールでナビゲートできる、会議のリストを調べる必要があります。

それ以外の点では、下の図からわかるように、このリストは今後の会議の表と同じです。

今後の会議の詳細

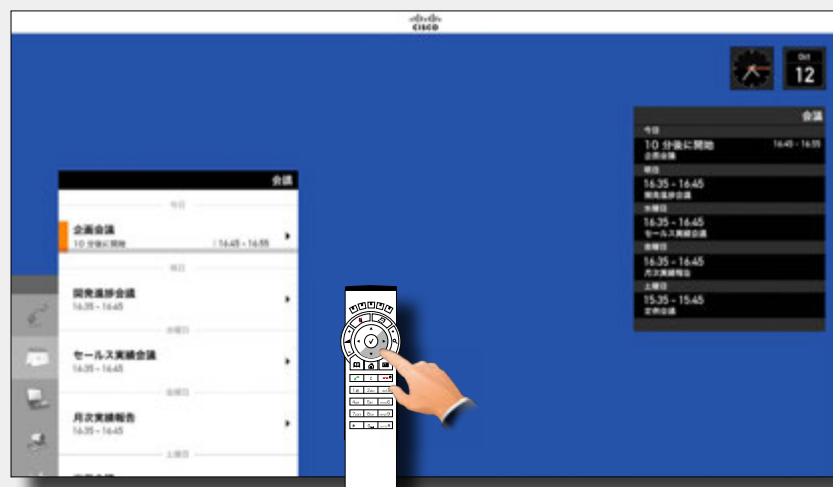
リストで今後の会議を 1 つ選択したら、その会議の詳細を調べられます。

参加が許可される時間枠内であれば、このメニューから会議に参加することもできます。この時間枠の長さは、システム管理者が定義する開始時刻バッファにより異なります。詳細については、▶ 前のページも参照してください。

今後の会議は、自動的に画面に表示される会議リマインダーに表示されます。詳細については、▶ 前のページを参照してください。

ナビゲート可能な会議のリストを表示

- ・ **【ホーム】** メニューで、**【会議】** をナビゲートして項目を展開し、会議のリストを表示します。



会議の詳細の表示

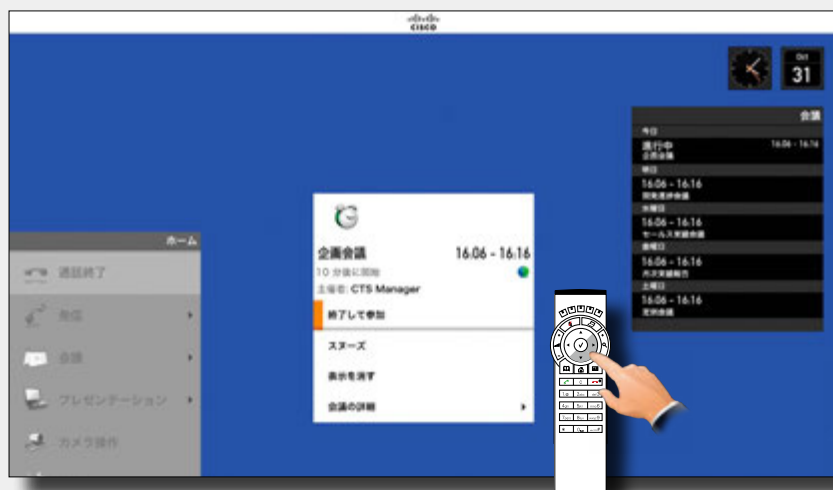
1. 調べる会議にナビゲートして、メニュー項目を展開します。
2. 次に、**【会議の詳細】** にナビゲートして、このメニュー項目を展開して会議の詳細を確認します。



すでに通話中の場合の参加

すでに通話中（ビデオ会議）の場合、**【会議に参加】**フィールドの内容が変わり、新しい状況を反映します。

- ・すでに通話中の場合、**【会議に参加】** ボタンが **【終了して参加】** に変わります。
- ・現在の通話を終了して新しい会議に参加するには、**【終了して参加】** を選択します。
- ・会議に一時的に参加するには、**【保留にして参加】** を選択します。
- ・リマインダーを 5 分間一時的に非表示にするには、**【スヌーズ】** を選択します。
- ・現在の会議を続行するには、**【表示を消す】** を選択します。
- ・決定するために、いつでも **【会議の詳細】** を選択して、会議の詳細を調べられます。



会議の同時進行（同時接続）

同時進行の会議が発生する（2 つ以上の会議が同時に行われる）場合、図のように、アラートが表示されます。

【会議を表示】を選択し、**【OK】**を押すと、会議のリストが表示され、図のように、同時進行の会議がリストの一番上に表示されます。

1. 説明に従って、**[会議を表示]**を展開します。
2. 次に、参加する会議にナビゲートして、通常の方法で参加します。



スケジュールされた会議の延長

スケジュールされた会議では、開始時刻と終了時刻が決められています。スケジュールされた会議に参加しているとき、**【会議は…終了します】**の通知が、管理システムにより会議が終了される 10 分前、5 分前、2 分前に表示されます。

継続中の会議を延長することもできます。これは、延長期間中にビデオ システムで他の会議がスケジュールされていない場合にシステムに承諾されます。

会議の延長

- ・ 延長を持続できる場合、**【会議は…終了します】**の通知に**【延長】**および**【表示を消す】**オプションが含まれます。
- ・ 会議を延長するには、図のように、**延長フィールド**が選択されていることを確認し、**[OK]**を押します。
- ・ 会議を延長しない場合は、**【表示を消す】**にナビゲートして、**[OK]**を押します。



会議はあと 10 分で終了します

会議室は 12:00 から予約されています。
この会議はあと 10 分で自動的に切断されます。

表示を消す



会議はあと 10 分で終了します

会議室は 12:00 から予約されています。
この会議はあと 10 分で自動的に切断されます。

15 分間延長

表示を消す



第 6 章 詳細設定

管理者設定について

【管理者設定】では、追加のソフトキー機能の定義、システムの IP 設定の変更、詳細設定オプションの使用、メニュー アクセス パスワードの変更を行うことができます。

ビデオ システムは、Web インターフェイスから設定できますが、**【詳細設定】**画面からも設定できます。通常、これはすべてシステム管理者が実行します。システム管理者は、**【詳細設定】**へのアクセスをパスワードで保護している可能性があります。

管理者設定およびパスワード

詳細設定はシステム管理者のみを対象としています。また、システム管理者によりパスワード保護されている場合があります。システム管理者以外のユーザーは通常、これらの設定をそのままにしておいてください。

IP 設定（ここには表示されていません）もシステム管理者を対象としています。

詳細設定と IP 設定については、お使いのビデオ システムを対象とした管理者ガイドで説明されています。このガイドは、www.cisco.com/go/telepresence/docs からダウンロードできます。

パスワードが設定されていない場合があります。システムにパスワードを設定する場合は、注意してください。パスワードを忘れた場合は、シスコ担当者まで直接お問い合わせください。

管理者設定の表示

1



ホーム

- 発信
- 会議
- プレゼンテーション
- カメラ操作
- 設定**

【ホーム】メニューから、【設定】にナビゲートして、✓キーを押します。

2



設定

- レイアウト
- メイン ソース: Main camera
- 通話設定
- 言語: 英語
- 日付と時刻
- サウンドとアラート
- 壁紙: Growing
- システム情報
- 管理者設定**
- 再起動

次に【管理者設定】にナビゲートして、もう一度✓キーを押し、利用可能なオプションを表示します。

3



設定

- レイアウト
- メイン ソース: Main camera
- 通話設定
- 言語: 英語
- 日付と時刻
- 管理者パスワード**

管理者パスワードを入力してください:

OK

キャンセル

パスワードを入力します。必要な場合は、仮想キーボードを呼び出します（詳細については、24 ページの「名前、番号またはアドレスを指定した発信」を参照）。

[OK]にナビゲートして、【管理者設定】メニューに入ります。

ソフトキー機能の割り当て

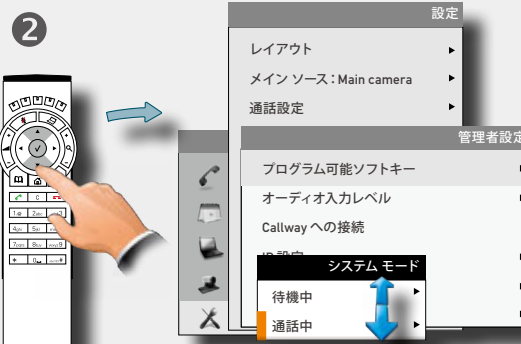
システムのリモート コントロールにある**機能**キーは、画面下部に表示されるソフトキーを操作するために使用します。詳細については、6 ページの ▶「メニューのナビゲーション」を参照してください。

ソフトキーはコンテキスト依存であるため、必要なときに表示され、それ以外の場合は表示されません。独自の機能をソフトキーに割り当てることにより、システムの知覚されるパフォーマンスを強化できます。

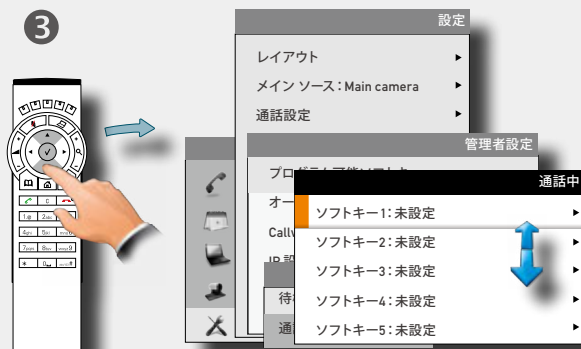
ソフトキーへの機能の割り当て



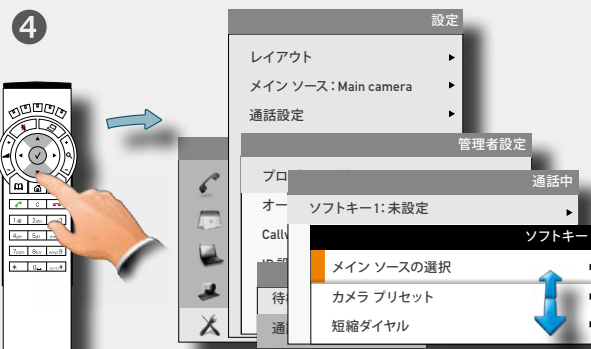
図のように、**【プログラム可能ソフトキー】**にナビゲートして、✓ キーを押します。必要に応じて、前のページも参照してください。



ナビゲートして、ソフトキー機能を待機中に適用するか通話中に適用するかを選択します。✓ キーを押します。



ナビゲートして、どのソフトキーに機能を割り当てるか選択します。✓ キーを押します。



利用可能なオプションから選択し、✓ キーを押します。オプションの詳細については次のページに記載されています。



ソフトキーの割り当てを待機中と通話中の両方に適用する場合は、機能を 2 回割り当てる必要があります。

待機中の設定と別に通話中モードでの設定が必要です。

どのソフトキーをどの機能に割り当てるかは自由に設定できます。

したがって、あるソフトキーを待機中に特定の機能に設定する場合に、同じソフトキーが通話中に同じ機能に割り当てられている必要はありません。

ただし、多くの場合、その方が論理的とみなされます。



このページの説明は、前のページに説明されているように、**すでに管理者設定**に入っていることを前提としています。

管理者設定へのアクセスは、システム管理者によりパスワード保護されている可能性があります。不明な点がある場合は、システム管理者にお問い合わせください。

メイン ソースの選択のためにソフトキーを作成

使用するソースに（画面下部に表示されるソフトキーから）直接アクセスするには、**【メイン ソースの選択】** 機能をソフトキーに割り当てる必要があります。下図では、**【ソフトキー 1】** を例にしていますが、この機能はもちろん 5 つのソフトキーのどれにでも割り当てられます。



下の左および右に表示されているメニューにアクセスする方法は、前のページで説明されています。



【ソフトキー 1】のメイン ソースとして [PC] を設定した場合、【ソフトキー 2】を [Main camera] に設定しておく（またはその逆）、両者の切り替えが簡単にできるようになります。

メイン ソースの選択ソフトキーの割り当て



利用可能なソースの数は、システムにより異なります。

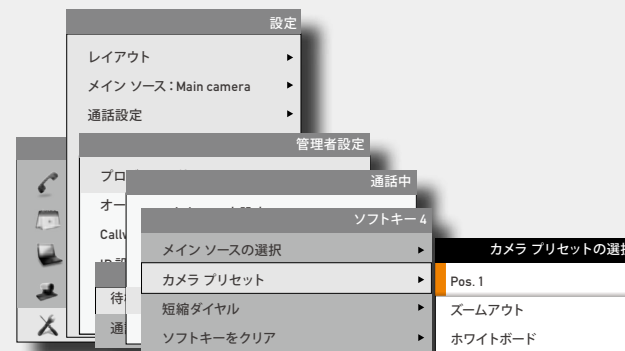
カメラ プリセットのためにソフトキーを作成

事前に定義したカメラ プリセットに（画面下部に表示されるソフトキーから）直接アクセスするには、**【カメラ プリセット】** 機能を 1 つまたは複数のソフトキーに割り当てる必要があります。

カメラ プリセットは、ソフトキーにプリセットの割り当てを開始する前に定義しておく必要があります。カメラ プリセットの詳細については、9 ページの ▶「カメラ プリセット」を参照してください。

下図では、**【ソフトキー 4】** を例にしていますが、この機能はもちろん 5 つのソフトキーのどれにでも割り当てられます。

カメラ プリセット ソフトキーの割り当て



ソフトキー — 短縮ダイヤル

アドレス帳の連絡先に（画面下部に表示されるソフトキーから）直接アクセスするには、**【短縮ダイヤル】** 機能を 1 つまたは複数のソフトキーに割り当てる必要があります。

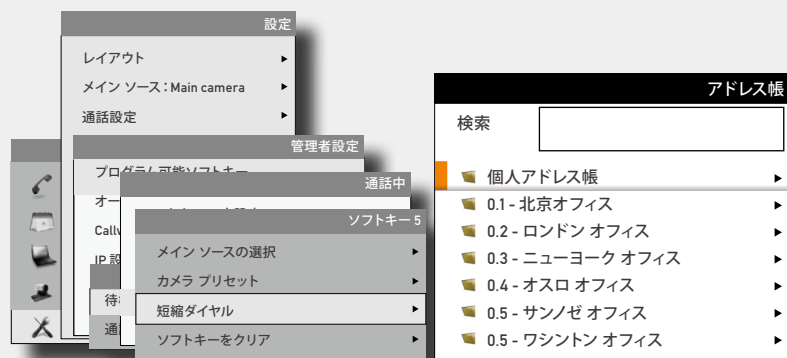
割り当ては既存の連絡先に対してのみ実行できます（個人アドレス帳および会社のアドレス帳）。連絡先のリストに連絡先を追加する方法は、▶ 34 ページを参照してください。

下では、**【ソフトキー 5】** を例にしていますが、この機能はもちろん 5 つのソフトキーのどれにでも割り当てられます。



下に示したメニューにアクセスする方法は 2 ページ前で説明されています。

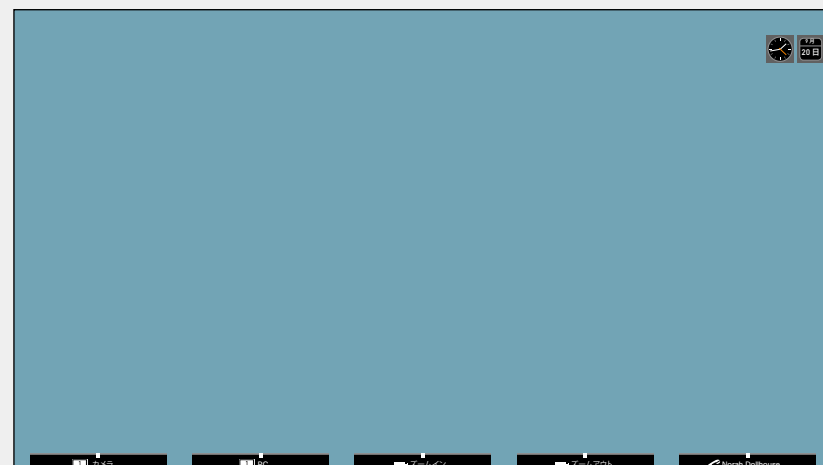
短縮ダイヤルの割り当て



カスタマイズされたソフトキーの表示方法

下の図は、定義されたカスタマイズ済みの 5 つのソフトキーがビデオ システムの画面でどのように見えるかを示しています。

カスタマイズされたソフトキーの例



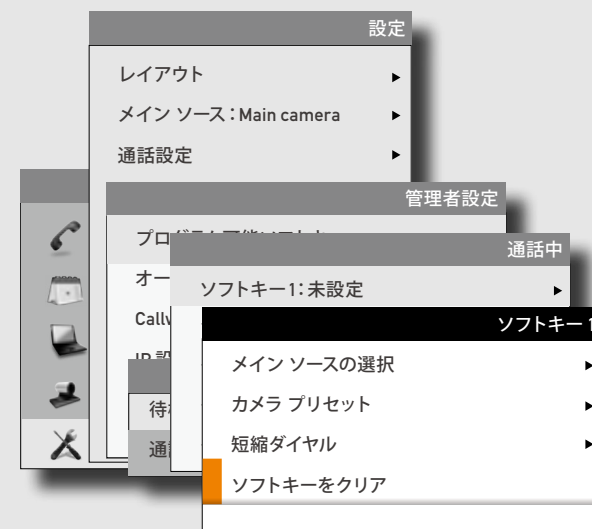
ソフトキー — ソフトキーのクリア

表示させる必要がなくなったソフトキーをクリアできます。これは、メニューの下部にある **[ソフトキーをクリア]** から実行します。同じソフトキーを別の機能に割り当てる前にソフトキー機能をクリアする必要はありません。すぐに割り当てられます。

下のメニューにアクセスする方法の詳細については、46 ページの ▶ 「ソフトキー機能の割り当て」を参照してください。



正しいソフトキー（待機中モードまたは通話中モード）を選択していることを確認します。



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標です。Cisco の商標の一覧は、www.cisco.com/go/trademarks でご確認いただけます。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。



シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL : <http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts/index.html>